

📷 第1回うつくしまトライアスロンinいわき 📄

📍 小名浜港第2・第3ふ頭

📅 8/23(日)



＼舞台は会津からいわきへ！鉄人レース開催／

伝統の猪苗代から舞台を移し、小名浜港で開催された「第1回うつくしまトライアスロンinいわき」。オリンピックや国内トップレベルのアスリートに加え、日頃、トレーニングを重ねてきた一般参加の選手たちも自らの限界に挑戦しました。

また、全国高校生選手権も併催され、未来を担う若きトライアスリートたちが、スイム・バイク（自転車）・ランと熱戦を展開しました。港町小名浜を駆け抜ける選手たちへ、沿道から温かい拍手と大きな声援が送られました。

📷 第14回フラガールズ甲子園 📄

📍 いわき芸術文化交流館アリオス

📅 8/23(日)



＼聖地で輝く笑顔！いわき湯本高が最優秀賞に輝く／

全国から16チーム約170人の高校生が参加した「フラガールズ甲子園」。市内からも4校が出場し、日頃の練習の成果を競い合いながら、はつらつとした演舞で観客を大いに魅了しました。激戦の結果、地元の福島県立いわき湯本高等学校が見事、2年ぶり3度目の最高賞・文部科学大臣賞を受賞。フラガールのふるさとに大きな感動が広がりました。

また、上位入賞チームによるエキシビジョンが8月24日にスパリゾートハワイアンズで披露され、会場は熱気に包まれました。

写真が語る「いわき」の歴史

中学校の開設

いわき地域学会 小宅幸一

中学校の制度は戦後、日本を間接統治した連合国軍総司令部（GHQ）の指令によって生まれたものでした。

戦前は尋常高等小学校の尋常科と高等科を併せ持つ一つの校舎に収容されていたのですが、このうち、年齢的にほぼ見合う高等科を、中学校として新たに独立校舎として分離させようとしたものです。法的には「学校教育法」によって、自治体に1校の割合で昭和22（1947）年4月に開校を迎えます。

中学校建設では、さまざまな背景とドラマを生み出すことになりました。背景には敗戦直後における各市町村の財政逼迫があったからです。あわただしく開校したものの独立校舎は持てず、かつての尋常高等小学校の空き教室や廊下、校長室などを活用して、各々スタートしました。

しかし、これは本来の姿ではありませんでした。各市町村は国の支援を得ながら、さまざまな手法で中学校建設を実現させていきます。

写真は、広報いわき令和4年4月号の『写真が語る「いわき」の歴史』にいわき市誕生の人文字の写真として平第二中学校を掲載したのですが、見方を変える

と、この学校は平市と神谷村の合併条件として、神谷村が土地を提供し、建設費用を平市が捻出して完成させたのです。旧飯野村に建てられた平第三中学校も同様の合併条件でした。

泉中学校は泉藩陣屋跡、磐崎中学校は湯長谷藩陣屋跡、勿来（後の勿来第一）中学校は棚倉藩陣屋跡付近でした。平第一中学校は平第二小学校（女子のみ）の旧校舎を利用して開校しました。植田中学校は植田高等女学校の空き教室に入りましたが、後に単独の学校となりました。



■写真 旧神谷村地内に開校した平第二中学校(写真奥に夏井川)

[昭和41（1966）年10月 産経新聞提供]